様式　1（共同研究）

**平成30年度金沢大学環日本海域環境研究センター共同研究　申請書・実施計画書**

金沢大学環日本海域環境研究センター長　殿

下記の通り申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな） |  | 提出年月日 | 平成　 　年　 　月　 　日 |
| 申請者氏名 |  |
| 所属・職名（学年） |  |
| 指導教員所属・職名 | （若手研究者育成共同研究申請の場合のみ記載ください。） | 指導教員の了承済 |
| □ |
| 連絡先住所 | 〒 |
| TEL |  | FAX |  |
| E-mail |  |
| 申請区分 | [ ] 　重点共同研究[ ] 　一般共同研究□　若手研究者育成共同研究 | [ ] 一般枠[ ] 国際枠 | 研究期間[ ] 単年[ ] 複数年(２年)(重点共同研究のみ、複数年度(2年)の申請が可能です。) | [ ] 新規[ ] 継続 |
| 研究分野 | [ ] 　環境汚染や環境変化の検知とその要因に関する研究[ ] 　環境変化が健康に及ぼす影響に関する研究[ ] 　生態系と人間社会の共生に関する研究[ ] 　地域環境の将来予測に関する研究[ ] 　持続可能な社会創成に関する研究※　重点共同研究は該当するものすべてを選択してください。※　一般共同研究、若手研究者育成共同研究は５つのうち１つを選択して下さい。 |
| 研究課題 |  |
| 分析する試料 | 物質名 | 形態（形状） | 試料数 | 所有権者 | 所有権者の使用許諾 | 法令等の遵守の義務 |
|  |  |  |  | [ ] 　有[ ] 　該当なし[ ] 　その他（　　　　） | [ ] 　該当なし[ ] 　該当あり※法令等の遵守の義務確認のため、いずれかを選択してください。（公募要領P3（注）参照） |
| 研究の意義、目的、特色、期待される成果（継続の場合は、従来の成果・経過に言及すること。） | （環日本海域との関連性がわかるように記載してください） |
| 必要とする経費（経費の内訳を記載ください。重点共同研究を研究期間２年で申請する場合は、３０年度と３１年度を分けて内訳を記載ください。）申請の上限額重点：100万円/年一般・若手：上限30万円 | 旅費 | ３０年度３１年度（重点共同研究を複数年度(2年)で申請する場合は、３１年度の経費内訳も記載ください）※旅費を申請できる用務先は、原則として本センター及び本センターの関連施設に限ります。ただし、「国際枠」の研究課題では、前述に加え、本学の研究分担者が代表者の所属機関で共同研究を行うための旅費も支出することができます。 |
| 消耗品費 | ３０年度３１年度（重点共同研究を複数年度(2年)で申請する場合は、３１年度の経費内訳も記載ください） |
| その他 | ３０年度３１年度（重点共同研究を複数年度(2年)で申請する場合は、３１年度の経費内訳も記載ください） |
| 合計額 | ３０年度：　　　　　　　　　　円３１年度：　　　　　　　　　　円（重点共同研究を複数年度(2年)で申請する場合は、３１年度の経費合計も記載ください） |
| 上記目的を達するための本申請の位置づけ |  |
| 研究組織 |  | 氏　名 | 所　属 | 職名／大学院生・学部生は利用時の年次 | 電話番号 | 分担事項 | E-mail |
| 申請者 |  |  |  |  |  |  |
| 分担者 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 注１）分担するセンター教員・研究者の氏名を明記して下さい。注２）センターを利用する人の氏名は当欄に必ず記載して下さい。採択後に追加・変更を行う場合は、センター教員に相談の上、変更申請書を事務局まで提出して下さい。注３）異動が生じた場合は速やかに報告して下さい。注４）学生が申請者や分担者になる場合は、実施までに傷害保険及び賠償責任保険（学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険等）に加入することを条件とします。 |
| 他公募での採択状況 |  |
| ※採否の審査の参考にしますので、当該研究課題に係る競争的資金や公募型プロジェクト等の採択状況を記載して下さい。 |
| 研究実施予定期間 |  |
| 利用実験室 |  |
| 利用する機器 | 機器名 | 利用者の機器操作能力※操作可／操作不可を記述 | 操作不可の場合のセンターの対応 |
|  |  |  |
| 持ち込む装置・器具 | 装置名 | 仕　　様　 | 安　全　対　策 |
| [ ] 　無[ ] 　有（「有」の場合は当欄に記載） |  |  |
| 国際規制物資、密封状放射性物質及び毒物・劇物等薬品を持ち込む場合の安全に関する記述、対策 | 安全に関する手続きが必要なもの[ ] 　該当なし[ ] 　国際規制物資[ ] 　密封状放射性物質[ ] 　毒物・劇物等薬品類※上記物質を持ち込む場合は、下欄に詳細を記載して下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名 | 形態（形状） | 量 | 性質 | 使用目的 | 保存方法及び処理方法 | 安全対策 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

 |
| センター共同研究・研究集会／全国共同利用研究のうち、関連する過去の利用実績 | [ ]  有　採択番号／研究課題　　1.　　　　／　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2.　　　　／　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　3.　　　　／　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　4.　　　　／　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[ ]  無 |
| 上記利用実績に係る成果物(原著論文発表、レビュー等原著論文以外による発表、口頭発表、卒業論文・修士論文・博士論文等)について記載（別紙可) |  |
| センター教員 | 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail　　　　　　　　　　　　　　　※主要設備一覧掲載の「センター教員」について記載して下さい。 |
| ※申請に当たっては、センター教員と事前に打合せを行って下さい。※特にRI・X線分析装置の使用を希望する場合には、センター教員と十分に事前打合せを行って下さい。 |